

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	農業後継者パートナー対策事業		担当部署	経済建設部 経済局 農林水産課(農業委員会)		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市農業後継者パートナー対策委員会規約		
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり		事業期間	開始	平成 19 年度
政策(中項目)	1	活力都市なると				
(小項目)		農林水産業(①農業)		終期	未定	
施策	10	農業の振興				
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市内で農業を行おうとする人						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	農業後継者を育成していくうえで配偶者の確保は重要であることから、パートナー紹介や出会いの場の提供を行い一組でも多くの結び付けを行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		登録者のパートナー成立、又は結婚数	0	0	1	1	1	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	農業委員と連携し「鳴門市農業後継者結婚相談台帳」への登録申請に向けた勧誘活動に向けて取り組んだ。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	登録者のパートナー成立、又は結婚数	0	0	1	1	1	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		登録者のパートナー成立、又は結婚数	0	0	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		0.0	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	0	0	0	20	20	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	0	0	0	20		20
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		326	326	652	652	652	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.05	0.05	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		326	326	652	672	672	千円	

【事務事業名：農業後継者パートナー対策事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	「鳴門市農業後継者結婚相談台帳」への登録申請に向けた勧誘活動及び相談台帳登録者の中から意向の合う候補者を選定し、情報提供や意向打診を行うなど、パートナーの実現に向けて取り組んでいる。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	農業に特化しない場合には、民間団体等による同様の取り組みもある。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 農業の振興 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	4 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	対象を農業に特定しているため、当人同士の意向が合えば即成果につながりやすい。
		<input type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
6 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	市内農協による財政支援、各地区から選出された農業委員及び事務局との連携により情報集約に努め実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	台帳への登録状況は、男性に対し女性の割合が極めて低く、台帳登録者のみでは交流イベント等の開催は困難な状況である。このため、女性会員数を増やしていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	未定 ▼			
	どのように改革するのか	魅力有る交流イベント等の企画運営に要する財源の確保を検討する。			